

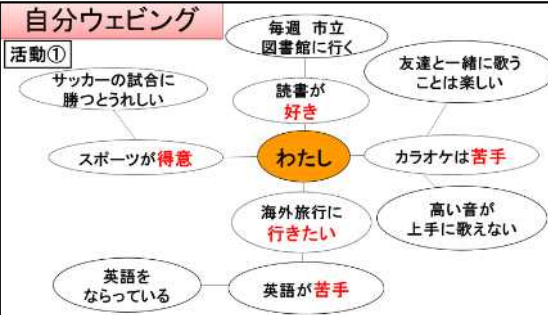




2 研究の実際 > (2) 「強み」に関する活動プログラム

イ 授業のポイント (小学校)

	主な活動 (交流活動…) と授業スライド等	児童の実態に即した活動のポイント
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">① 自分や友達の「強み」を知ろう</p>	<p>「強み」について知る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p style="text-align: center;">「強み」って 何だろう？</p>  <p style="text-align: center;">考え方、行動、からだ など 自分に あるもの 自分が もっているもの</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p style="text-align: center;">プラスに思えること だけでなく マイナスに思えること もふくめて</p>  <p style="text-align: center;">「強み」と考える</p> </div>	<p>「強み」という言葉に対するイメージは「力が強い」「からだが丈夫」等にとどまっていることが考えられます。 →スライドを見ながら「強み」の定義を理解します。</p> <p>マイナスに思えることは「強み」として捉えにくいと考えます。 →これから学習する「強み」とは、プラスに思えることだけではなくマイナスに思えることも含むことを、スライドを見ながら理解します。</p>
	<p>自分ウェビング</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自分ウェビング</p> <p>活動①</p>  </div> <p>(好きなものや苦手なこと) 「自分ウェビング」の記入例</p>	<p>「強み」の考え方を理解することが難しい児童や、自分の「強み」を表現することに躊躇したり自分には「強み」がないと思ったりする児童がいることが考えられます。 →「自分ウェビング」の記入例を参考に、好きなものや苦手なことを書きやすいところから書き始めることにより、活動に取り組みやすくなります。そして、ウェビングを書いた後に「強み」を理解するポイントを改めて具体的に説明することにより、「強み」への理解を深めます。</p>
	<p>自分ウェビング</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>活動②</p>  <p>すすんで本を読んでいるところ 〇〇 より</p>  <p>苦手な英語の勉強をがんばっているところ △△ より</p> <p>活動③ 自分の「強み」を書きましょう。 ぼく・わたしの「強み」は… 苦手なこともがんばるところ</p> </div> <p>(友達と自分が見付けた「強み」)</p>	<p>友達の「強み」は、自分の「強み」よりも見付けやすく書きやすいことが考えられます。 →友達の「自分ウェビング」を参考に、友達の「強み」を見付けて友達のワークシートに書くと同時に、友達からも「強み」を書いてもらうことにより、自分の「強み」を知ります。</p>

	主な活動（交流活動・・・）と授業スライド等	児童の実態に即した活動のポイント																																								
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">② 自分や友達の「強み」を生かそう</p>	<p>「星☆いくつ」の記入例</p> <p>（友達と自分が見付けた「強み」）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>星☆いくつ 活動① 友達に当てはまるもの(4つ) 活動② 自分に当てはまるもの(4つ) 活動③ 自分の「強み」だと思ふもの(3つ)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>1</td> <td>おもしろい</td> <td>おもしろい</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>明るい</td> <td>明るくて いつもニコニコ</td> <td>★</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>やさしい</td> <td>思いやりがある・やさしい</td> <td>★</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>世話好き</td> <td>お世話がすき・お世話が上手</td> <td>★</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>聞き方名人</td> <td>話を聞くのが 上手</td> <td>★</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>がんばりや</td> <td>最後まで がんばる</td> <td>★</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>体力あり</td> <td>体力が ある</td> <td>★</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>あいさつ</td> <td>あいさつ名人・返事名人</td> <td>★</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>はきはき</td> <td>はきはきと 話す</td> <td>★</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>アイデアマン</td> <td>グッドアイデアを 思いつく</td> <td>★</td> </tr> </table> </div>	1	おもしろい	おもしろい		2	明るい	明るくて いつもニコニコ	★	3	やさしい	思いやりがある・やさしい	★	4	世話好き	お世話がすき・お世話が上手	★	5	聞き方名人	話を聞くのが 上手	★	6	がんばりや	最後まで がんばる	★	7	体力あり	体力が ある	★	8	あいさつ	あいさつ名人・返事名人	★	9	はきはき	はきはきと 話す	★	10	アイデアマン	グッドアイデアを 思いつく	★	<p>友達に当てはまるものは、自分に当てはまるものよりも見付けやすいと考えられます。</p> <p>→ 友達のワークシートにシールを貼る活動を通して友達の「強み」について考え、友達からもらったシールを参考にして、自分の「強み」について考えることにより、自己理解と他者理解を深めます。</p>
	1	おもしろい	おもしろい																																							
2	明るい	明るくて いつもニコニコ	★																																							
3	やさしい	思いやりがある・やさしい	★																																							
4	世話好き	お世話がすき・お世話が上手	★																																							
5	聞き方名人	話を聞くのが 上手	★																																							
6	がんばりや	最後まで がんばる	★																																							
7	体力あり	体力が ある	★																																							
8	あいさつ	あいさつ名人・返事名人	★																																							
9	はきはき	はきはきと 話す	★																																							
10	アイデアマン	グッドアイデアを 思いつく	★																																							
<p>「ステップアップ ウェビング」</p> <p>アイデアの視点</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ステップアップ ウェビング 活動②</p> <p>苦手なことや困っていることを解決するための アイディアを考えるポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分のやり方や先生や家族に教えてもらったやり方 ○ 今、思いついたアイディア ○ その友達の「強み」を生かす ○ にているアイディアや、関係のあるアイディアはつなげる </div> <p>↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ステップアップ ウェビング</p> <p>「苦手なことを解決するアイデア」の記入例</p> <pre> graph TD A(「がんばりやだから 小さい声で練習する」) --> B(「あいさつ名人だから 「さんせいです」など 短い言葉で伝える」) C(「あいさつ名人だから あいさつのように大きな声で言う」) --> B B --> D(「みんなの前で 発表することが はずかしい」) E(「発表前に、手の平に指で「だいじょうぶ」と3回書く」) --> D D --> F(「がんばりやだから 家族の前で練習する」) F --> G(「できたらシールをはる」) </pre> </div> <p>↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ステップアップ ウェビング</p> <p>活動③ 「強み」を生かして、苦手なことや困っていることを解決するためにやってみようこと、がんばりたいことを書きましよう。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>発表する言葉をノートに書いて、 小さい声で練習する。</p> </div> </div> <p>（自分がやってみようこと、がんばりたいこと）</p>	<p>自分の「強み」を生かして自分の苦手なことや困っていることを解決するアイディアは思い付きにくいと考えられます。</p> <p>→ スライドの説明を参考にして、苦手なことや困っていることを解決するアイディアの視点を学習します。</p> <p>「友達の役に立ちたい」「友達に教えてあげたい」という気持ちは強いと考えます。</p> <p>→ 友達の苦手なことや困っていることを解決するアイディアを、友達の「強み」を参考にして考えることにより、他者理解を深めます。</p> <p>「強み」を生かすことにより、やってみようことや頑張りたいことにチャレンジする意欲が高まると考えます。</p> <p>→ 友達から記入してもらったアイディアを参考にして、自分の「強み」を生かした解決方法を考えることにより、実践意欲を高めます。</p>																																									

	主な活動（交流活動…）と授業スライド等	児童の実態に即した活動のポイント
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">③ 自分や友達の「強み」を生かしていこう</p>	<p style="text-align: center;">お宝ウェビング</p> <p>交流活動の振り返り</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>これまでの活動</p> <p>1時目「自分ウェビング」</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2時目「星☆いくつ」</p> </div> </div>	<p>1、2時目の授業の写真や振り返りシートの記述を提示してこれまでの学習を振り返らせた後に、1、2時目のワークシートで自分の「強み」を再確認させることにより、スムーズに本時の交流活動につなげることができると考えます。</p> <p>→スライドやワークシート等を基に、自分の「強み」を再確認します。</p>
	<p style="text-align: center;">お宝ウェビング</p> <p>活動① 「自分ウェビング」「星☆いくつ」「ステップアップウェビング」を通して見つけた自分の「強み」を書きましよう。関係のあるものは、つなげましよう。</p>	<p>1、2時目で知った「強み」を関連付けたり、新たな「強み」に気付いたりするためには、視覚的な手立が必要であると考えます。</p> <p>→1、2時目で知った「強み」を、ウェビングで整理することにより、自己理解を深めます。</p>
	<p style="text-align: center;">お宝ウェビング</p> <p>活動② グループの友達の「お宝ウェビング」に、その友達の「強み」だと思えるものを書き加えましよう。関係のあるものはつなげましよう。</p>	<p>友達にメッセージや手紙を贈ることに喜びを感じると思います。</p> <p>→友達の「強み」を書き加えるときに自分の名前を書き添えることにより、友達を思いやる気持ちや活動への意欲を高めます。</p>
<p style="text-align: center;">これがあれば大丈夫！</p> <p>これがあれば大丈夫！</p> <p>活動① これから先、あなたが困ったときや落ち込んだとき、何かにチャレンジしたいときに、「これがあれば大丈夫！」と思える「強み」を2つ選んで、リュックサックに入れましよう。</p> <p>【選んだ「強み」】</p> <p>【選んだ理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● やっぱりわたしの一番の「強み」はがんばるところだと思ったから。 ● 友達と協力すると、いろいろなことにチャレンジできると思ったから。 	<p>複数の「強み」の中から、場面に応じて生かしたい「強み」を選択することは難しいと考えます。</p> <p>→自分の「強み」の中から「これがあれば大丈夫！」と思える「強み」を2つ選ぶことにより、自己理解を深め、「強み」を生かしていこうという意欲につなげます。</p>	

※ 3時間の学習で使用したワークシート等は、それぞれの授業後に目を通してファイル等にまとめ、「ぼく・わたしの『強み』」として児童に配付します。